

平成三十一年度 聖ドミニコ学園中学校入学試験（第一回）

国語

50分

◎ 次の注意事項（しごとう）を読んでください。

- 1 試験開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 2 問題は全部で10ページあります。
- 3 解答用紙は問題用紙にはさんであります。
- 4 解答用紙に受験番号、氏名を書いてください。
- 5 答えはすべて解答用紙に書いてください。
- 6 字数は、句読点や「」をすべて一字に数えます。

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(問題作成の都合上、本文を一部省略・変更しています)

よく、「そんな研究が何の役に立つのか？」という言葉を聞く。ついこのまへも、「三角関数なんか学校で教えても、社会に出て役に立たないではないか」と発言した①セイジカがいたらしい。

こういった発言は、「自分の役に立つことがすべてだ」という極めて集中した思考に基づいて②いるだろう。自分や、自分の利益しか見えていない。それを言う人には、逆に③尋ね④たくなる。「あなたは何の役に立つのですか？」と。①「役に立つこと以外に、価値はないのですか？」と。

音楽も③カイガも、社会の役に立っているだろうか。④天文学も数学も、本来は役に立てようとして始まったものではあるけれど、それ以前に、その探求が人間の価値だったのではないのか。これは、役に立たない大学、役に立たない研究者を抱える社会や国家の価値を問うものである。そういった⑤純粋な探求をする姿勢に、人は憧れるし、なんとなく清々しく感じるものだが、それはどうしてなのか。役に立つことだけに集中したのであれば、それこそすべて機械化すれば理想の社会になるだろう。しかし、⑥A そうではないことを、なんとなく人間は知っているのである。知っているから、そういったものに時間、労力、資金を投じて探求してきた。それが間違っていたと主張する人は、人間の価値を見誤っているのではないだろうか。⑦B

さて、少し話題が発散したかもしれない。

このように、思考は、ついつい発散するものである。発散して本

来目指していた目標から離れすぎてしまうこともあるが、⑧これがまんざら悪いとばかりもいえない。話が発散するのはまずいと考えるのは、「集中が善である」という固定観念があるからにすぎない。

発散するといっても、その瞬間瞬間では、人の思考は集中しているから、分散した沢山の点のうちの一つから、線を引き始めるようなもので、その線自体はつながっている。これがあまり長くなると、もともとどの点にいたのかわからなくなる。また、他の点のどれかに戻り、別の線を引き、というのが分散思考の本来である。

ただ、これは面白い、ここをもっと考えたいということが当然ある。そういった欲望を人は持っている。だから、そこは兼ね合いになるだろう。自分は今何を考えようとしていたのか、という自覚がときどきあれば、全体を見失うことはない。⑨イ

多くの人は、「分散思考をするにはどうすれば良いのか？」と尋ねるだろう。その方法がないこと、それを自分で考えることが大事だ、とは既に述べたが、日頃多くの若者に⑩セツして(否、若者に限らないかもしれない)、どうもこの「考える」の意味を大勢が誤解しているようだ、と最近気づいた。

こんなふう目標を定めず、とにかく走りなさい、と言われても、「どうやって走れば良いですか？」と疑問を持つ。とりあえず、どちらへ走れば良いのか、ということだろう。あるいは、「自分の足で走りなさい」と言われても、走ることは無意識にやっているわけであって、走り方自体を知らない人も多いということかもしれない。

物心ついた頃から、今は周囲の大人たちが世話を⑪ヤいてくれる。こうしなさい、ああしなさいはもとより、どう反応すれば良いかも

教えてくれる。子供はただ、大人が喜んでくれるように繰り返せば良いだけだ。もう少し成長すれば、世話をしてくれるのがネットワーク（友人関係と注¹ SNSなど）になる。周囲のみんながどう反応するかで、自分も同じようにしていれば仲間外れにならないことを学ぶ。

たしかに、「学ぶ」ことは沢山あるから、どんどん価値観やノウハウのデータを⑦キユウシユウする。学んだことから、それに則して反応すれば、学校の成績も維持できる。もし、新しいものが⑧アラワれたり、わからないことがあれば、ネットで検索すれば良い。

こういった社会に育つと、「考える」チャンスがほとんどないといっても良い。

多くの場合、頭に思い浮かべて、ただ選択する、あるいは反応する、という程度である。それが「考える」ことだと思いついでいる。また、大多数の人たちは、「学ぶ」ことが「考える」ことだと勘違いしている。「学ぶ」とは、頭に注²インプットすること、知識を入れて覚えるだけのことだが、「考える」とは、それらインプットしたものをを用いて頭の中で理屈を組み立てること、仮説を作ることなのである。脳の活動として、まったく異なっている。

C 今の若者に多いのは、まず「考えよう」として、頭で問題を思い浮かべるものの、すぐに「わからない」という結論になる。頭に思い浮かべているだけであり、ぼうつとしているのと変わらない状態である。そして、わからないのは、自分がこの問題を「知らない」からだ、とすぐに結論を出す。では、「知る」ためにどうすれば良いかといえ、調べる、検索する、誰かに教えてもらおう、という行

動しかない。今は、調べるのも、検索するのも、教えてもらうのも、とても手軽にいつでもできるようになったから、すぐにそこに飛びつく。

これらが簡単にできない時代の子供たちはどうしていたかという、しかたがないから、自分で考えたのだ。「何故だろう?」「どうしてなのだろう?」と考えているうちに、自分の頭の中から、「もしかしてこれかな」「いや、それよりもこうではないのか」といういと浮かび上がってくる。「以前にも似たような問題を考えたが、あのときとの違いはここここか」とか、「今回も同じような答えではないか」とか、そんな連想や仮説が沢山頭の中で巡る。

このように自分で考えた子供が、あるときトシヨカンでその関連の本を見つけると、もしかして自分が考えたものの答があるのではないか、とわくわくしてそれを読むだろう。なにも考えていない子供に対して、大人が「この本を読みなさい」と与えた場合と、理解度が違ってくるのは歴然としている。3 というものは、このように自分の頭で考えるほど大きくなるものだ。

「どうすれば考える子供になりますか?」という質問をよく受ける。そういう質問をするのは、考えていない親だ。自分が考えていないから、考えるということの意味がわかっていない。難しいことではない。人間は、なにもすることがなければ考える生き物である。E

これは、「教育」においても同様で、教えようとするほど効果が上がらない。楽しく学べるようにしようと考えてるほど、楽しさなんか見つけられない。ただ、大人が喜ぶよう4色を窺い、空気が読める均一的な人間になりやすいというだけである。

「だったらどうすれば良いのか？」とまたききたくなつたのではないか。そう、それが間違まちがつていることは自明である。

(森博嗣『集中力はいらない』)

注1 SNS——ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス。インターネット上の登録会員向けの情報交換・交流サイト。

注2 インプットする——(コンピュータや頭に)入力する。

問一——線①「セイジカ」、②「利益」、③「カイガ」、④「天文学」、⑤「セツ(して)」、⑥「ヤ(いて)」、⑦「キユウシユウ」、⑧「アラワ(れ)」、⑨「トシヨカン」、⑩「同様」のカタカナは漢字に直し、漢字は読み方をひらがなで答えなさい。

問二 に入る適当な言葉を次から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は一度しか使えません)

ア あるいは イ しかし ウ なぜなら
エ もしも オ たとえ

問三 次の文は、本文の のどこかに入ります。適当な場所を一つ選び、ア〜エの記号で答えなさい。

ようするに、なにも与あたえなければ、自分の頭の中で自分が欲しいものを作るようになる。

問四——線A「そうではない」とはどういうことですか。次の に入る言葉を、本文から17字でぬき出しなさい。

わけではない。

問五——線B『『考える』の意味を大勢が誤解している』とありますが、では本来の意味での「考える」とはどのようなことですか。それを説明した次の に入る言葉を、本文からそれぞれ漢字2字でぬき出しなさい。

頭に入れた を用いて、 を組み立てたり、 を作ったりすること。

問六 に入る適当な言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 平常心 イ 自制心 ウ 恐怖心 エ 好奇心

問七 に入る漢字1字を考えて答えなさい。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

許諾が得られなかったため、本文を省略

許諾が得られなかったため、本文を省略

許諾が得られなかったため、本文を省略

許諾が得られなかったため、本文を省略

問一

―線①「困(んで)」、②「ムノウヤク」、③「部屋」、④「ゼツタイ」、⑤「イマ」、⑥「独(り)言」、⑦「シンソコ」、⑧「悪態」、⑨「キョウユウ」、⑩「応(え)」のカタカナは漢字に直し、漢字は読み方をひらがなで答えなさい。

問二

Ⅰ「お父様が…」、Ⅱ「あなた…」の二つの会話文は、「。」「や、「」を使わずに書かれています。これによってママのどのような様子が読み取れますか。適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ママがぎくしゃくしている自分を隠(かく)そうとしている様子。
- イ ママが祖父を喜ばせることに夢中になり早口になった様子。
- ウ ママが怒(おこ)ってすみれやパパたちに当たり散らしている様子。
- エ ママが必死になつて失敗したことを隠(かく)そうとしている様子。

問三

―線A「私の本音」に**当てはまらない**ものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 血の繋が(つな)った祖父なのに、他人が家にいるような気持ちがある。
- イ おじいちゃまが早く長野へ帰ってくれないかなと思っている。
- ウ 自分の部屋でひとりになって、夜眠(ねむ)るときしか安心できない。
- エ おじいちゃまは大切な人だから、いつまでも家にいてほしい。

問四 〓線1「感嘆」、2「息を飲んで(息を飲む)」の意味を次から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は一度しか使えません)

- ア 感心してほめる。 イ なげき悲しむ。 ウ 非難する。
エ 休みする。 オ はつと驚く。 カ 深く息をする。

問五 a b c に入る適当な言葉を次から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は一度しか使えません)

- ア まっすぐ イ ふんわり ウ どしーん エ そろそろ

問六 X Y に入る適当な言葉を次から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号は一度しか使えません)

- ア 孤独 イ 退屈 ウ 自由 エ 命令 オ 期待

問七 ー線B「私の予想」とありますが、すみれは、おじいちゃまがどのような顔をしていると予想していたのですか。次の(1)、(2)に入る適当な言葉を、本文からそれぞれ指定された字数でぬき出しなさい。

(1) (4字) な顔や、 (2) (6字) な顔。

問八 にはおじいちゃまの願いを表す言葉が入ります。適当な言葉を、ここより前の本文から8字でぬき出しなさい。

問九 ー線C「今のおじいちゃまの方が、私はうんと好きだった」とありますが、その理由として適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア どんなどきだって、娘であるママや孫であるすみれのことを愛してくれていると感じたから。
イ おばあちゃまが亡くなつたあとも、彼女のことを大切に思いつづけているのだと分かったから。

ウ 無条件には娘や孫をかわいと思えないという、おじいちゃまの本音に親しみを感じたから。
エ ママはおじいちゃま夫婦に似ていないけれど、孫のすみれはよく似ていると言ってくれたから。

問十 ー線D「係をきちんとつとめあげませんか」について、

(1)「係をつとめる」とは、本文ではどのような意味で使われていますか。次の に入る適当な言葉を、ー線Dより後の本文から9字でぬき出しなさい。

相手の (9字) をすること。

